

普通紙（厚口）

発行者 | 香川県議会議員 とみの和憲 とみの和憲事務所 〒761-8043 高松市中間町598番地1 TEL 087-885-0370



とみの和憲県政レポート

とみの通信 第3号
2024年3月発行



第11回 地域の声を聴こう会 (県政報告会) を開催します。

日時：3月30日（土）午後1時～
場所：檀紙コミュニティセンター（御厩町775-1）

県政報告と意見交換を行います。お気軽にお越しください。

県議会2月定例会 代表質問(2月21日) 会派「立憲・市民派ネット」の代表質問に登壇しました。



質問項目は下記のとおりです。

- 知事の政治姿勢
- 能登半島地震を受けての災害対策
- 公共交通政策
- 文化財等を活用したシビックプライドの醸成
- 賃上げに向けた取組

代表質問の全体の内容は
QRコードから「議会中継」
をご覧ください。

代表質問



【文化財等を活用したシビックプライドの醸成】



高松城天守閣バーチャル画像 高松市観光交流課提供

（富野の問い）

高松城天守閣の復元は国内外からの来訪者が増加するだけでなく、県民にとって愛する郷土の歴史に触れ、郷土愛の醸成につながる。県として高松城天守閣復元に向けた支援をどう進めるのか。

（教育長答弁）

県教育委員会としては、高松城の天守閣の復元に向け、資料収集や調査研究を専門的見地から支援するとともに、国に対し法的な手続きや財政支援などが進むよう、高松市とともに働きかけていきたい。



【知事の政治姿勢】

（富野の問い）

高松港の特定利用港湾指定に係る国との協議内容等について、丁寧に県民に説明していく考えはあるのか。

（知事答弁）

県としては、高松港が特定利用港湾となった場合、大規模災害発生時における自衛隊等の活動が、より迅速・円滑に行われるようになるとともに、民生利用を主としつつ、必要な整備等が行われ、整備効果が早期に発現されることが期待できると考えている。

今後、国との協議に進展があった場合、その内容等を丁寧に説明していく。

高松港は、本県の人流・物流拠点として重要な役割を担っている港であり、県議会での議論等も踏まえ、適切に対応していく。

【能登半島地震を受けての災害対策】

（富野の問い）

能登半島地震では道路の隆起や崩落で救援ルートの設けること自体に困難があった。県として道路啓開計画を見直す必要はないのか。

（知事答弁）

ご指摘のとおり、能登半島地震では道路の隆起や崩落、液状化などにより、交通の確保に時間を要し、集落の孤立が発生した箇所も見られ、地形的条件などは異なるものの、本県でも、山間部や離島においては、同様な状況が想定されることから、今後、孤立リスクが高い箇所などについて、今回の地震で明らかになった課題を踏まえた道路啓開について検討していく。

※道路啓開とは、緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けることで、大規模災害では応急復旧を実施する前に救援ルートを確保する道路啓開が必要とされています。

【賃上げに向けた取組】

（富野の問い）

中小企業での賃上げが実現するように、原材料等のコスト上昇分の価格転嫁への理解を広げる取り組みが必要ではないか。

（知事答弁）

中小企業における賃上げには価格転嫁が重要な要素。昨年5月に県や国、経済団体など12の機関・団体が締結した「価格転嫁の円滑化に関する協定」

を踏まえ、発注者側の企業と受注者とのパートナーシップの構築の促進などに向け、1月23日には協定参加機関・団体の担当者会議を開催し、情報共有を図った。引き続き適切な価格転嫁についての理解が進むよう取り組んでいく。

【公共交通政策】

（富野の問い）

新たな地域公共交通計画を通してめざす将来の公共交通の姿は。

（知事答弁）

香川県地域公共交通計画については、現在、計画の策定を進めている。国や市町、交通事業者等と連携し、「公共交通の維持とネットワークの最適化」や「利便性の確保」、「利用の促進」などに取り組むことにより、県全体で利便性と結節性を有した持続可能な公共交通ネットワークを構築することがめざすべき将来の公共交通の姿であると考えている。

とみの和憲ホットライン(携帯電話)

090-3461-3219

何かお困りごとがありましたら、
ご遠慮なく、お気軽にお知らせください。

【とみの和憲事務所(自宅)】

〒761-8043 高松市中間町598番地1
携 帯：090-3461-3219
TEL：087-885-0370
メール：kaz.tomino@gmail.com
HP：http://tomino.online/



プロフィール

昭和46年(1971年)12月29日 高松市中間町生まれ(51歳)
檀紙幼〜檀紙小〜香東中〜大手前高松高〜立命館大学法学部
平成7年(1995年) 高松市役所入庁(納税課・市民課・人事課)
平成19年(2007年) 高松市役所退職し、国会議員秘書に
平成27年(2015年) 高松市議会議員選挙で初当選(2期)
令和5年(2023年) 香川県議会議員選挙で当選